

2017 年度
(第 3 期)
事 業 報 告 書

自 2017 年 1 月 1 日
至 2017 年 12 月 31 日

公益財団法人 杉浦記念財団

2017年度（第3期）事業報告書

1. 事業の概況

当法人は、医学・薬学・看護学・社会福祉学の進歩発展、医薬品の研究・開発、医薬品の安定的且つ安全な供給と医療従事者および介護福祉従事者の育成を支援することにより、地域医療を振興し、以って、国民とりわけ高齢者の健康と福祉の増進に寄与することを目的として掲げております。

2025年には団塊の世代が全て75歳以上となり、さらに、2035年には団塊ジュニアが65歳以上となることから、高齢者の全人口に占める割合がますます高まっていくことが予想されることを背景として、国民とりわけ高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を継続することができる環境を整えるために、地域医療の振興が意味するところは、医療・介護サービスの提供体制の構築に止まらず、健康の保持増進や介護予防といった健康寿命の延伸に資する活動の推進にまで広がりを見せております。

このような状況のなかで、当法人は、当事業年度において、以下の事業を実施いたしました。

(1) 助成・褒賞事業（公1）

助成・褒賞事業では、定款第4条第1項第1号に定める「地域医療の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞」として、杉浦地域医療振興助成（以下「杉浦助成」といいます。）と杉浦地域医療振興賞（以下「杉浦賞」といいます。）の授与を以下のとおり実施いたしました。

A. 第6回杉浦地域医療振興助成

助成の対象	地域医療振興の分野で、優れた活動や研究を行っている個人・団体で、今後より有意義な活動や研究の成果が期待されるもの
募集・選考結果	募集期間：2017年1月1日から同年2月28日まで 応募数：150件（研究分野86件、活動分野64件） 助成授与数：20件（研究分野10件、活動分野10件） 助成額：総額19,670,328円 （研究分野14,973,000円、活動分野4,697,328円）
授与式等	2017年7月20日に帝国ホテル東京にて、第6回杉浦助成の授与式と第5回杉浦助成の成果発表会を実施いたしました。

B. 第6回杉浦地域医療振興賞

褒賞対象	地域医療を振興し、国民の健康と福祉の向上に優れた成果をおさめ、住み慣れた地域で安心して、その人らしく住み続けることを支援する活動を行った団体・個人
募集・選考結果	募集期間：2016年10月1日から同年12月31日まで 応募数：34編 褒賞授与数：4編（5編選考のうち1編は辞退） 褒賞内容：表彰盾及び副賞2,000,000円（総額8,000,000円）
授与式	2017年7月20日に帝国ホテル東京にて、第6回杉浦賞の授与式を実施いたしました。

第6回杉浦地域医療振興賞の審査委員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
委員長	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長／日本福祉大学 常務理事
委員	秋山 弘子	東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授
委員	柴田 博	桜美林大学 名誉教授・招聘教授
委員	辻 哲夫	東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授

(注) 五十音順で記載しております。

第6回杉浦地域医療振興助成の選考委員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
委員長	伴 信太郎	愛知医科大学 医学教育センター長・特命教授
委員	網岡 克雄	金城学院大学 薬学部 社会薬学 教授
委員	雨師 みよ子	一般社団法人大阪府訪問看護ステーション協会 副会長
委員	安藤 明夫	中日新聞社 編集委員(医療担当)
委員	安東 直紀	宮津市役所 理事／元 京都大学大学院工学研究科・医学研究科 安寧の都市ユニット 特定准教授
委員	井伊 久美子	公益社団法人日本看護協会 専務理事
委員	上野 桂子	社会福祉法人聖隷福祉事業団 監事／一般社団法人全国訪問看護事業協会 副会長
委員	遠藤 英俊	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター長・内科総合診療部長
委員	大原 弘隆	名古屋市立大学大学院 地域医療教育学 教授／名古屋市立大学病院 総合内科 部長
委員	澤登 久雄	社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院 地域ささえあいセンター センター長／おおた高齢者見守りネットワーク 発起人
委員	塩川 満	総合病院聖隷浜松病院 薬剤部長
委員	白澤 政和	桜美林大学大学院老年学研究科 老年学専攻 教授／日本学術会議会員
委員	高瀬 義昌	医療法人社団 至高会 たかせクリニック 理事長／公益財団法人日米医学医療交流財団 理事
委員	田中 雅子	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ 教授
委員	平野 隆之	日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（助成・褒賞事業）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
雑 収 益	0	402,687	402,687
そ の 他 雑 収 益	0	402,687	402,687
経常収益計	0	402,687	402,687
(2) 経常費用			
事 業 費	38,216,000	36,367,813	△1,848,187
消 耗 品 費	15,000	24,235	9,235
印 刷 製 本 費	1,591,000	1,215,963	△375,037
そ の 他	1,591,000	1,215,963	△375,037
諸 謝 金	1,800,000	1,250,000	△550,000
選 考 委 員 謝 礼	1,800,000	1,250,000	△550,000
支 払 手 数 料	0	1,200	1,200
そ の 他	0	1,200	1,200
租 税 公 課	0	546,448	546,448
支 払 助 成 金	20,000,000	19,670,328	△329,672
支 払 寄 付 金	10,000,000	8,000,000	△2,000,000
広 告 宣 伝 費	100,000	10,748	△89,252
会 議 費	3,310,000	3,751,944	441,944
助 成 ・ 褒 賞 授 与 式 費 用	2,760,000	3,410,656	650,656
選 考 委 員 会 議 費 用	550,000	289,088	△260,912
そ の 他	0	52,200	52,200
旅 費 交 通 費	1,320,000	1,833,870	513,870
選 考 委 員 旅 費 交 通 費	720,000	637,261	△82,739
授 与 式 参 加 者 旅 費 交 通 費	600,000	888,021	288,021
そ の 他	0	308,588	308,588
通 信 運 搬 費	80,000	63,077	△16,923
経常費用計	38,216,000	36,367,813	△1,848,187
評価損益等調整前当期経常増減額	△38,216,000	△35,965,126	2,250,874
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△38,216,000	△35,965,126	2,250,874

経常収益は 40 万円で、これは、過年度の杉浦助成授与対象者からの余剰金返還額を雑収益に計上したものであります。

また、経常費用は 3,637 万円で、予算比△185 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 杉浦賞で 1 件辞退があり、支払寄附金が予算を下回ったこと（△200 万円）
- 印刷製本費、諸謝金、支払助成金、広告宣伝費が想定よりも抑えられたこと（△134 万円）
- 助成を研究分野と活動分野に分けたことにより授与対象者数が増加したため、授与式に係る会議費、旅費交通費が予算を超過したこと（+96 万円）
- 租税公課を事業別に予算計上していなかったこと（+55 万円）

(2) 調査・研究事業 (公2)

調査・研究事業では、定款第4条第1項第2号に定める「地域医療の振興に係る社会実験への助成、参画」として、以下の研究会等を運営いたしました。

A. 都市型の看護介護医療等連携研究会

当事業年度は、都市型の看護介護医療等連携研究会を5回開催し、「認知症」をテーマとして多職種連携の在り方を追究いたしました。各回の概要は、以下のとおりです。

	日 程	会 場	テ ー マ	講 師
第9回	2017年 2月2日 (木)	ステーション コンファレンス 東京	認知症情報学と 人口知能からの イノベーション (第1回)	竹林 洋一 静岡大学大学院 総合科学 技術研究科 教授
第10回	2017年 4月6日 (木)	ステーション コンファレンス 東京	認知症情報学と 人口知能からの イノベーション (第2回)	竹林 洋一 静岡大学大学院 総合科学 技術研究科 教授
第11回	2017年 6月8日 (木)	ステーション コンファレンス 東京	日本認知症ワー キンググループ 藤田和子さんと の対談	永田 久美子 認知症介護研究・研修東京セ ンター 研究部 部長
第12回	2017年 8月3日 (木)	ステーション コンファレンス 東京	認知症の人がよ り良く生きてい ける社会の実現 を目指す	宮島 渡 社会福祉法人恵仁福祉協会 常務理事・高齢者総合福祉施 設アザレアンさなだ 総合施 設長
第13回	2017年 10月12日 (木)	ステーション コンファレンス 東京	認知症の人がよ り良く生きてい ける社会の実現 を目指す	加藤 忠相 株式会社あおいけあ 代表 取締役社長(神奈川県藤沢市 高齢者福祉サービス提供)

また、都市型の看護介護医療等連携研究会 講演集 Vol.4 を発行し、希望者に1,400部配布いたしました。

概要は、以下のとおりです。

はじめに	慶應義塾大学 名誉教授 田中 滋
第1章	認知症の有病率と生活障害への対応 東京医科歯科大学 脳統合機能研究センター 特任教授／医療法人社団創知会 メモリークリ ニックお茶の水 理事長 朝田 隆
第2章	まちづくりに専門職ができること～おおた高齢者 見守りネットワーク(みま～も)の取り組み～ 社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院 地域さ さえあいセンターセンター長／おおた高齢者見守りネットワーク発 起人 澤登 久雄
第3章	認知症の人のより良い生き方を誰が実現するのか さわやか法律事務所 弁護士／公益財団法人 さわやか福祉財団



- 会長 堀田 力
- 第 4 章 家族の介護負担を考える～徘徊の実態と対応～
桜美林大学 老年学総合研究所 所長 大学院教授／国立長寿医療
研究センター 理事長特任補佐 鈴木 隆雄
- 第 5 章 認知症とともにより良く生きる：そんな社会をいっしょに創っていこう
日本認知症ワーキンググループ (JDWG) 共同代表 藤田 和子
日本認知症ワーキンググループ (JDWG) パートナー／認知症介護
研究・研修東京センター研究部 部長 永田久美子

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	田中 滋	慶應義塾大学 名誉教授
副座長	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 たかせクリニック 理事長
副座長	宮島 渡	社会福祉法人恵仁福祉協会 常務理事 高齢者総合福祉施設 アザレアさんだ総合施設長.
副座長	秋山 正子	(株)ケアーズ代表取締役白十字訪問看護ステーション 統括所長・暮らしの保健室室長
アドバイザー	齋藤 訓子	公益社団法人日本看護協会 副会長
アドバイザー	宮島 俊彦	岡山大学客員教授 客員教授
アドバイザー	森 貞述	特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク 理事
会 員	朝田 隆	医療法人社団創知会 メモリークリニックお茶の水 東京医科歯科大学脳統合機能研究センター 特任教授
会 員	阿部 智子	訪問看護ステーション けせら 管理者
会 員	栗田 圭一	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研 発所
会 員	磯村 順司	社会福祉法人 高浜市社会福祉協議会事務局長
会 員	板谷 匠	社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院 経営企画 室 室長リハビリステーション部 部長
会 員	伊藤善典	埼玉県立大学保健医療福祉学部 教授
会 員	宇都宮 宏子	在宅ケア移行支援研究所 代表
会 員	大木 一正	有限会社クリーン薬局代表取締役
会 員	大澤 光司	株式会社メディカルグリーン 代表取締役社長
会 員	岡田 太造	兵庫県立大学大学院経営研究科客員教授
会 員	岡本 茂雄	株式会社シーディーアイ 代表取締役
会 員	勝又 浜子	公益社団法人日本看護協会 常任理事
会 員	川越 正平	あおぞら診療所 院長
会 員	木全 真理	東京大学高齢社会総合研究機構 特任助教
会 員	小玉 剛	公益社団法人 日本歯科医師会常任理事
会 員	後藤 恵子	東京 理科大学薬学部薬学科 健康心理学研究室 教授
会 員	澤登 久雄	社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院 地域さ えあいセンターセンター長 おおた高齢者見守りネットワーク発起人
会 員	椎名 美恵子	有限会社ふれすか 訪問看護テラスステーション みけ 代表取締役管理者

役名	氏名	所属・役職
会 員	柴田 範子	特定非営利活動法人 楽 理事長
会 員	清水 まや	社会医療法人財団仁医会 牧田病院 経営企画室副 室長 薬剤部課長
会 員	助川 未枝保	社会福祉法人六親会船橋市三山・田喜野地域包括支 援センターセンター長
会 員	高砂 裕子	一般社団法人南区医師会 南医師会訪問看護ステー ション管理者
会 員	高橋 紘士	一般財団法人高齢者住宅財団 特別顧問 東京通 信大学教授
会 員	竹林 洋一	静岡大学 創造科学技術大学院、特任教授
会 員	東内 京一	埼玉県和光市保健福祉部 部長
会 員	長尾 和宏	医療法人社団裕和会 長尾クリニック 理事長
会 員	新田 國夫	医療法人社団つくし会 理事長
会 員	野中 久美子	東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域 保健研究チーム 研究員
会 員	馬袋 秀男	一般社団法人「民間事業の質を高める」全国介護事 業者協議会 特別理事
会 員	日栄 優	社会福祉法人京都福祉サービス協会 西京事務所 所長
会 員	藤田 正之	(特定) 医療法人仁医会理事 仁医会地域包括 支援センターセンター長 西尾市地域包括支援センター西尾センター長
会 員	藤原 佳典	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研 究所社会参加と地域保健健康チームリーダー・研究 部長
会 員	舩木 良真	医療法人三つ葉 理事長
会 員	宮路 博	社会福祉法人京都福祉サービス協会 居宅本部・副 本部長
会 員	山村 由美子	社会福祉法人長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンタ ーこぶし園 24時間ケアサービスステーションリー ダー
会 員	山下 和彦	大阪大学大学院 医学系研究科 バイオデザイン学 共同研究講座
会 員	吉井 靖子	社会福祉法人長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンタ ーこぶし園総合施設長
会 員	吉江 悟	東京大学高齢社会総合研究機構 一般社団法人 NeighborhoodCare 代表理事
オブザ ーバー	込山 愛朗	厚生労働省老健局 振興課長
オブザ ーバー	武井 佐代里	厚生労働省老健局 高齢支援課 課長

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業 A）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	5,447,000	6,588,104	1,141,104
印刷製本費	2,012,000	2,915,093	903,093
その他	2,012,000	2,915,093	903,093
諸謝金	660,000	570,000	△90,000
セミナー講師謝礼	480,000	420,000	△60,000
その他	180,000	150,000	△30,000
租税公課	0	445,757	445,757
会議費	1,560,000	1,230,562	△329,438
研究会会議費	1,560,000	1,225,521	△334,479
その他	0	5,041	5,041
旅費交通費	1,200,000	1,417,631	217,631
研究会会員旅費交通費	1,200,000	1,083,288	△116,712
その他	0	334,343	334,343
通信運搬費	15,000	9,061	△5,939
経常費用計	5,447,000	6,588,104	1,141,104
評価損益等調整前当期経常増減額	△5,447,000	△6,588,104	△1,141,104
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△5,447,000	△6,588,104	△1,141,104

経常費用は 659 万円で、予算比+114 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 講演集 vol.4 を増刷したため、印刷製本費が予算を超過したこと（+90 万円）
- 租税公課を事業別に予算計上していなかったこと（+45 万円）
- 旅費交通費が想定を上回ったこと（+22 万円）
- 研究会を 6 回開催予定のところ、5 回開催となったため、諸謝金、会議費が抑えられたこと（△42 万円）

B. 医薬品適正使用協働研究会

当事業年度は、医薬品適正使用協働研究会を5回開催し、医薬品適正使用の観点から、チーム医療における協働を進めることを追究いたしました。

各回の概要は、以下のとおりです。なお、講師の承諾が得られた講演は、地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修コンテンツに活用しております。

	日 程	会 場	テーマ	講 師
第15回	2017年 2月8日 (水)	ステーション コンファレンス 東京	地域完結型医療におけるポリファーマシー対策	宝塚市立病院 薬剤部 主幹 吉岡 睦展
第16回	2017年 4月12日 (水)	ステーション コンファレンス 東京	高齢者の適切な薬物療法とそのガイドライン	東京大学大学院医学系研究科 加齢医学(東京大学医学部附属 病院 老年病科 助教・老年病 科病棟医長) 小島 太郎
第17回	2017年 6月21日 (水)	ステーション コンファレンス 東京	総合的処方見直しの取組～褥瘡からのポリファーマシーを考える～	国立研究開発法人 国立長寿 医療研究センター 薬剤部 溝神文博
第18回	2017年 10月11日 (水)	ステーション コンファレンス 東京	高齢者医薬品適正使用検討会の趣旨	厚生労働省 医薬生活衛生局 医薬安全対策課長 佐藤 大作
第19回	2017年 12月6日 (水)	ステーション コンファレンス 東京	電子お薬手帳の標準化と活用	東京大学大学院薬学系研究科 医薬政策学講座 特任研究員 一般社団法人スマートヘルス ケア協会 代表理事 岡崎 光洋

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役 名	氏 名	所属・役職
座 長	秋下 雅弘	東京大学大学院医学系研究科加齢医学 東京大学医学部附属病院老年病科 教授
副座長	倉田 なおみ	昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 地域医療薬学部 門 教授
副座長	鈴木 裕介	名古屋大学 地域連携・患者相談センター 准教授
副座長	水上 勝義	筑波大学大学院人間総合科学研究科 スポーツ健康システム・マネジメント科学専攻 教授
会 員	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構 教授
会 員	五十嵐 中	東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学 特任准教授
会 員	大井 一弥	鈴鹿医療科学大学 大学院薬学研究科 薬学部 治 療・病態学分野 臨床薬理学研究室 教授
会 員	大嶋 繁	城西大学薬学部 准教授

役名	氏名	所属・役職
会員	大谷 道輝	公益財団法人 佐々木研究所付属 杏雲堂病院
会員	大屋 亜希子	一般社団法人 サードパス 医療・学び場・創造機構 代表理事
会員	恩田 光子	大阪薬科大学 臨床実践薬科大学研究室 准教授
会員	川添 哲嗣	医療法人つくし会 南国病院
会員	金澤 幸江	一般社団法人 土浦薬剤師会 会長
会員	亀井 浩行	名城大学薬学部 病院薬学研究室 教授
会員	亀井 美和子	日本大学薬学部 実践薬学系 医療コミュニケーション学研究室 教授
会員	小島 太郎	東京大学医学部附属病院 老年病科 助教
会員	後藤 恵子	東京理科大学薬学部薬学科 健康心理学研究室 教授
会員	佐藤 啓	公益財団法人 日本薬剤師研修センター 常務理事
会員	杉浦 伸一	同志社女子大学 薬学部 教授
会員	杉浦 昭子	公益財団法人 杉浦記念財団 理事長
会員	鈴木 匡	名古屋市立大学 薬学部 臨床薬学教育研究センター 教授
会員	清野 敏一	帝京平成大学 薬学部薬学科 教授
会員	高瀬 義昌	医療法人社団 至高会 たかせクリニック 理事長
会員	伴 信太郎	名古屋大学大学院医学系研究科 総合診療医学講座 教授
会員	平井 みどり	神戸大学医学部附属病院薬剤部 薬剤部長
会員	福島 紀子	慶応義塾大学 薬学部 名誉教授 一般社団法人 慶應義塾大学部K P会 副会長
会員	古田 勝経	愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター長 (国立長寿医療研究センター特任研究員)
会員	堀 美智子	医薬情報研究所 株式会社 エス・アイ・シー
会員	丸岡 弘治	医療法人社団 協友会 介護老人保健施設 横浜あおばの里
会員	真野 泰成	東京理科大学 薬学部薬学科 准教授
会員	溝神 文博	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 薬剤部 日本褥瘡学会認定褥瘡薬剤師
会員	山浦 克典	慶応義塾大学 薬学部 教授 附属薬局薬局長 薬学博士
会員	山中 崇	東京大学医学部在宅医療学拠点 特任准教授
会員	湯本 哲郎	星薬科大学 薬剤師職能開発研究部門
会員	吉尾 隆	東邦大学薬学部医療薬学教育センター 臨床薬学研究室教授 薬学博士 精神科専門薬剤師
会員	渡辺 謹三	東京薬科大学 薬学部 一般用医薬品学教室
オブザーバー	浅井 文和	朝日新聞社東京本社科学医療部 編集委員
オブザーバー	池野 敬	国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 福祉機器開発部 非常勤研究員
オブザーバー	熊木 良太	医系総合大学 昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 地域医療薬学部門 助教
オブザーバー	小西 公子	東京都立東部療育センター 薬剤検査科 薬剤係長
オブザーバー	寺崎 省子	朝日新聞社東京本社科学医療部 記者

役名	氏名	所属・役職
オブザーバー	根本 英一	株式会社 南山堂 「薬局」編集部 編集長
オブザーバー	野出 典子	株式会社 ベネッセホールディングス 介護・保育カンパニー地域連携本部看護職員
オブザーバー	古川 晶彦	株式会社 南山堂 編集部 編集長
オブザーバー	間宮 郁子	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業 B）

科目	予算額	決算額	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	3,747,000	2,826,032	△920,968
印刷製本費	312,000	0	△312,000
その他	312,000	0	△312,000
諸謝金	660,000	490,000	△170,000
セミナー講師謝礼	480,000	340,000	△140,000
その他	180,000	150,000	△30,000
租税公課	0	173,012	173,012
会議費	1,560,000	1,374,487	△185,513
研究会会議費	1,560,000	1,368,774	△191,226
その他	0	5,713	5,713
旅費交通費	1,200,000	770,724	△429,276
研究会会員旅費交通費	1,200,000	543,149	△656,851
その他	0	227,575	227,575
通信運搬費	15,000	17,809	2,809
経常費用計	3,747,000	2,826,032	△920,968
評価損益等調整前当期経常増減額	△3,747,000	△2,826,032	920,968
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△3,747,000	△2,826,032	920,968

経常費用は 283 万円で、予算比△92 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 研究会を 6 回開催予定のところ、5 回開催となったため、諸謝金、会議費、旅費交通費が抑えられたこと（△78 万円）
- 想定していた映像撮影を行わなかったため、印刷製本費の計上がなかったこと（△31 万円）
- 租税公課を事業別に予算計上していなかったこと（+17 万円）

C. 愛知県地域再生・まちづくり研究会

当事業年度は、愛知県地域再生・まちづくり研究会を9回開催し、人口急減・超高齢化により衰退の傾向にある地域が、それぞれの特徴を活かして再生し、自律的で持続的な社会を実現できるまちづくりを追究いたしました。

また、第2回長生きを喜べるまちづくりシンポジウムを開催するとともに、その講演集を作成・配布（2,800部）いたしました。

各回の概要は、以下のとおりです。

	日 程	会 場	テ ー マ	講 師
第19回	2017年 1月20日 (金)	ウインクあいち	地方創生と共生支援	(元)まち・ひと・しごと創生本部 地方創生総括官 山崎 史郎
第20回	2017年 2月23日 (金)	ウインクあいち	地域づくりのための仕組みと主体	名古屋大学大学院法学研究科 教授 後 房雄
第21回	2017年 3月9日 (金)	ウインクあいち	都市・地域計画、危機管理、市民参加	京都府立大学 京都政策研究センター長 青山 公三
第22回	2017年 5月26日 (金)	ウインクあいち	技術と身体、そして〈まちづくり〉一人間のロボット化を避けるために	名古屋工業大学 基礎教育類 社会工学専攻 建築・デザイン分野 工学教育総合センター 教授 大貫 徹
第23回	2017年 6月23日 (金)	ウインクあいち	若者の意見「超高齢社会に未来はあるか？」	未来医療研究機構 日渡 健介
第24回	2017年 7月28日 (金)	ウインクあいち	地域共生社会の実現にむけた社会福祉法の改定について	日本福祉大学 教授 原田 正樹
第25回	2017年 8月18日 (金)	ウインクあいち	はじめよう、お金の地産地消～地域の課題を「お金と人のエコシステム」で解決する～	公益財団法人あいちコミュニティ財団 代表理事 木村 真樹
第26回	2017年 9月22日 (金)	ウインクあいち 大ホール	第2回長生きを喜べるまちづくりシンポジウム—真の高齢問題は40年後にくる—	次頁参照
第27回	2017年 11月17日 (金)	ウインクあいち	幸福な人生を生きるために	岐阜県東白川村地域振興課長 桂川 憲生
第28回	2017年 12月15日 (金)	ウインクあいち	次世代に向けた身体観の創設	梅村学園 学事顧問 (元中京大学 学長) 北川 薫

第2回

長生きを喜べるまちづくりシンポジウム

— 真の高齢問題は40年後にくる —

入場無料

先着800名様
ご招待!

9/22 金

開場 12:00
13:00~16:00

13:00 開催挨拶

杉浦 昭子
公益財団法人 杉浦記念財団 理事長
大沢 勝
愛知県社会福祉協議会 会長



13:15~14:05 日本列島 創生論

演者 石破 茂

衆議院議員

座長 安井俊夫

愛知県総合看護福祉専門学校もりのがくえん校長、
元愛知万博事務次長、元愛知県教育長



石破 茂
「日本列島創生論」



大島 伸一
「長寿の国を診る」



石破 茂氏、大島 伸一氏の著書を抽選で
各100名様合計200名様にプレゼント

教育講演

14:15~14:35

世代間のつながりの理論

演者 長谷川 敏彦

一般社団法人 未来医療研究機構
代表理事

座長 石田 芳弘

至学館大学伊達コミュニケーション
研究所所長、元愛知県犬山市長、
元衆議院議員

次世代の意見

座長 亀井 春枝

はじめの一步代表
元愛知県薬剤師会会長

座長 山本 保

愛知県政策顧問、「改革の風フォーラム」代表、
元参議院議員、元総務大臣政務官

14:35~14:50

長久手市の取り組み

演者 若杉 玲子

愛知県長久手市役所
市長公室政策秘書課

14:50~15:05

豊根村の地方創生

演者 青山 幸一

愛知県豊根村役場
地域振興課 課長

15:05~15:20

お金と人のエコシステム

演者 木村 真樹

公益財団法人 あいちコミュニティ財団 代表理事

15:20~15:55 総合討論

座長 大島 伸一

国立研究開発法人国立長寿
医療研究センター名誉総長、
愛知県地域再生・まちづくり研究会座長

座長 森 貞述

特定非営利活動法人地域ケア
政策ネットワーク理事、
元愛知県高浜市長

シンポジスト

若杉 玲子

愛知県長久手市役所
市長公室政策秘書課

青山 幸一

愛知県豊根村役場
地域振興課 課長

木村 真樹

公益財団法人
あいちコミュニティ財団 代表理事

追加発言

日渡 健介

一般社団法人
未来医療研究機構

コメンテータ

成瀬 幸雄

南医療生協 専務理事

長谷川 敏彦

一般社団法人
未来医療研究機構 代表理事

15:55~16:00 閉会挨拶

北川 薫

梅村学園理事顧問、前中京大学学長、
梅村学園・中京大学スポーツ
将来構想会議議長

シンポジウムテーマ これから生まれてくる人の為に、2060年をどうデザインするか

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長／日本福祉大学 常務理事
会員	石田 芳弘	至学館大学 伊達コミュニケーション研究所所長 (元犬山市長)
会員	伊藤 文郎	社会保険診療報酬支払基金理事長 (元津島市長)
会員	大沢 勝	社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 会長 学校法人日本福祉大学 名誉総長
会員	北川 薫	梅村学園 学事顧問 (元中京大学 学長)
会員	長谷川 敏彦	一般社団法人未来医療研究機構 代表理事
会員	森 貞述	特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク 理事
会員	安井 俊夫	愛知総合看護福祉専門学校 もりのがくえん 校長 (元愛知県教育長)
会員	山本 保	愛知県政策顧問 「改革の風フォーラム」代表
会員	杉浦 昭子	公益財団法人 杉浦記念財団 理事長
オブザーバー	大貫 徹	名古屋工業大学大学院 教授 基礎教育類 社会工学専攻 建築・デザイン分野 工学教育総合センターセンター長
オブザーバー	小野坂 潔	愛知県健康福祉部 医療制度改革監
オブザーバー	今野 直明	中部経済産業局 地域経済部次世代産業課 ヘルスケア産業室長
オブザーバー	小林 弘和	中部経済産業局 地域経済部次世代産業課 ヘルスケア産業室 室長補佐
オブザーバー	丹羽 則雄	社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 企画室長
オブザーバー	井原 辰雄	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 企画戦略局長
オブザーバー	森 道成	オリーブ薬局 代表取締役 日進豊明薬剤師会 会長
オブザーバー	大森 雅弥	中日新聞 編集局 編集委員

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業 C）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	7,963,000	7,900,143	△62,857
消耗品費	0	5,482	5,482
印刷製本費	2,518,000	1,746,706	△771,294
その他	2,518,000	1,746,706	△771,294
諸謝金	1,200,000	1,600,000	400,000
セミナー講師謝礼	900,000	1,060,000	160,000
その他	300,000	540,000	240,000
支払手数料	0	300	300
その他	0	300	300
租税公課	0	421,533	421,533
委託費	0	316,500	316,500
広告宣伝費	500,000	968,295	468,295
会議費	2,220,000	1,738,412	△481,588
研究会会議費	2,220,000	880,665	△1,339,335
セミナー会議費用	0	841,162	841,162
その他	0	16,585	16,585
旅費交通費	1,500,000	1,043,731	△456,269
研究会会員旅費交通費	1,500,000	988,581	△511,419
その他	0	55,150	55,150
通信運搬費	25,000	59,184	34,184
経常費用計	7,963,000	7,900,143	△62,857
評価損益等調整前当期経常増減額	△7,963,000	△7,900,143	62,857
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△7,963,000	△7,900,143	62,857

経常費用は 790 万円で、予算比△6 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 研究会を 10 回開催予定のところ、9 回開催となったため、会議費、旅費交通費が抑えられたこと（△94 万円）
- 講演集作成費用が抑えられたため、印刷製本費が予算を下回ったこと（△77 万円）
- シンポジウムに係る諸謝金、広告宣伝費、通信運搬費が想定を上回ったこと（+90 万円）
- 委託費を予算計上していなかったこと（+32 万円）
- 租税公課を事業別に予算計上していなかったこと（+42 万円）

D. 健康寿命延伸と介護予防を考える会

当事業年度は、健康寿命延伸と介護予防を考える会を5回開催し、70歳以降に要介護状態に陥ることなく、可能な限り長く自立して生活できるよう、具体的な健康寿命延伸のための方策を追究いたしました。

各回の概要は、以下のとおりです。なお、講師の承諾が得られた講演は、地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修コンテンツに活用しております。

	日程	会場	テーマ	講師
第3回	2017年 1月26日 (木)	キャスル プラザナ ゴヤ	その人らしく 生きることを 支援する～介 護支援専門員 の取り組み～	前一般社団法人日本介護支援 専門員協会 常任理事／千葉 県後見支援センター契約締結 審査会 副委員長 助川 未枝保
第4回	2017年 3月23日 (木)	ウイנק あいち	健康寿命延伸 と介護予防の 観点から管理 栄養士の取り 組み	公益社団法人愛知県栄養士会 副会長、鈴鹿医療科学大学保 健衛生学部医療栄養学科管理 栄養コース 特任准教授 NPO 法人 LET'S 食の絆 副理事長 江口 澄子
第5回	2017年 5月18日 (木)	ウイנק あいち	サルコペニ ア・フレイル	名古屋大学大学院医学系研究 科総合医学専攻 発育・加齢医 学講座 地域在宅医療学・老年 科学分野（老年内科）教授 名古屋大学未来社会創造機構 教授 葛谷 雅文
第6回	2017年 9月21日 (木)	ウイנק あいち	健康サポート 薬局が応える 地域の疾病予 防及び健康増 進活動につい て	東京大学大学院薬学系研究科 医薬政策学講座 特任研究員 一般社団法人スマートヘルス ケア協会代表理事 岡崎 光洋
第7回	2017年 11月30日 (木)	J P タワ ー名古屋 ホール& カンファ レンス	生きがい	名古屋学芸大学大学院栄養科 科学研究科 下方 浩史

当該考える会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	鈴木 隆雄	桜美林大学 老年学総合研究所 所長／大学院教授 国立長寿医療研究センター 理事長特任補佐
アドバイザー	近藤 克則	千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門 教授／国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学 研究センター 老年学評価研究部長（併任） 日本福祉大学 客員教授
会員	阿部 友和	株式会社フィジカルイノベーションズ 代表取締役 社長／星城大学 リハビリテーション学部 非常勤 講師・研究員
会員	磯村 順司	社会福祉法人高浜市社会福祉協議会 事務局長
会員	稲垣 毅	一般社団法人愛知県作業療法士会 会長 愛知県厚生連 海南病院
会員	稲葉 静代	岐阜県健康福祉部 次長 兼 保健医療課長
会員	今田英己	学校法人電波学園 あいちビジネス専門学校教諭 医学博士
会員	江口 澄子	公益社団法人愛知県栄養士会 副会長、 鈴鹿医療科学大学 保険衛生学部 医療栄養学科 特任准教授、 NPO 法人 LET'S 食の絆 副理事長
会員	大井 一弥	鈴鹿医療科学大学 大学院薬学研究科 臨床薬理学研 究室 教授
会員	大浦 智子	星城大学 リハビリテーション学部 作業療法学専攻 講師
会員	大田 康博	日本福祉大学 実務家教員／株式会社 Q O L 8 4 （キューオーエルハチヨン）プラス 代表取締役
会員	岡崎 光洋	一般社団法人スマートヘルスケア協会（SHCA）北海 道大学大学院
会員	加藤文之	公益社団法人愛知県理学療法士会副代表理事 名古屋学院大学リハビリテーション学部 教授
会員	久野 幸信	大府市役所 総務部
会員	溝神 由美子	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 薬 剤部
会員	澤登 久雄	社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院 大田区地 域包括支援センター入新井センター長 おおた高齢者見守りネットワーク発起人
会員	佐々木 直子	名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課 保 健師
会員	島田 裕之	国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研 究センター 予防老年学研究部 部長
会員	下方 浩史	名古屋学芸大学健康・栄養研究所 教授
会員	白石 成明	日本福祉大学 リハビリテーション科 教授
会員	杉浦 洋子	碧南市役所 健康推進部 高齢介護課 地域支援係
会員	杉浦 あゆみ	碧南市 高齢介護課地域支援係

役名	氏名	所属・役職
会 員	鈴木 裕介	名古屋大学医学部附属病院地域連携・患者相談センター 病院准教授
会 員	武地 一	藤田保健衛生大学医学部 認知症・高齢診療科 教授
会 員	都築 晃	公益社団法人愛知県理学療法士会理事 地域包括ケア推進委員会委員長、藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センター 藤田保健衛生大学医療科学部リハビリテーション学科 講師
会 員	野田 幸裕	名城大学薬学部教授
会 員	野口 孝政	名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課 主査
会 員	林 正実	大府市企画政策部参事
会 員	藤川 隆彦	鈴鹿医療科学大学薬学部 教授 薬理・動態学分野 分子予防薬理学研究室
会 員	藤田 正之	(特定)医療法人仁医会 理事 西尾市地域包括支援センター中央、居宅介護支援事業者 あいさんケアマネセンター 総合センター長
会 員	堀内 康世	常滑市役所 高齢介護課
会 員	水谷 文美乃	西尾市健康福祉部健康課主査
会 員	水鳥 美紀	西尾市健康福祉部長寿課主査
会 員	宮國 康弘	千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門 特任研究員
会 員	村瀬 文康	愛知県言語聴覚士会地域リハビリテーション委員会 理事 株式会社ジェネラス 訪問看護ステーションほたる
会 員	武藤 英夫	株式会社ジャパンライフデザインシステムズ マーケティングディビジョン セルフドクタークラブ プロデューサー
会 員	森下 志穂	愛知県歯科衛生士会 理事 名古屋医健スポーツ専門学校 教務部 歯科衛生科 専任教員 歯科衛生士
会 員	百瀬 由美子	愛知県立大学看護学部・看護学研究科
会 員	山田 清文	名古屋大学大学院医学系研究科医療薬学・医学部附属病院薬剤部 教授・薬剤部長
会 員	横山 茂紀	名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課 課長

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業 D）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事 業 費	2,367,000	1,474,633	△892,367
印刷製本費	12,000	0	△12,000
その他の	12,000	0	△12,000
諸謝金	660,000	550,000	△110,000
セミナー講師謝礼	480,000	400,000	△80,000
その他の	180,000	150,000	△30,000
支払手数料	0	300	300
その他の	0	300	300
租税公課	0	68,479	68,479
会議費	780,000	538,371	△241,629
研究会会議費	780,000	538,371	△241,629
旅費交通費	900,000	309,495	△590,505
研究会会員旅費交通費	900,000	308,902	△591,098
その他の	0	593	593
通信運搬費	15,000	7,988	△7,012
経常費用計	2,367,000	1,474,633	△892,367
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,367,000	△1,474,633	892,367
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△2,367,000	△1,474,633	892,367

経常費用は 147 万円で、予算比△89 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 研究会を 6 回開催予定のところ、5 回開催となったため、諸謝金、会議費、旅費交通費が抑えられたこと（△94 万円）
- 印刷製本費、通信運搬費が想定よりも抑えられたこと（△2 万円）
- 租税公課を事業別に予算計上していなかったこと（+7 万円）

(3) 講座・セミナー事業（一般人対象）（公3）

講座・セミナー事業（一般人対象）では、定款第4条第1項第6号に定める「その他前条の目的を達成するために必要な事業」として、主に一般人を対象としたセミナー等を以下のとおり実施いたしました。

A. 健康増進セミナー

当事業年度は、健康増進セミナーを東名阪の主要都市にて8回開催し、体組成・骨密度・血管年齢等の測定、健康相談、講演会を株式会社スギ薬局の協賛にて実施いたしました。

各回の概要は、以下のとおりです。

セミナー	開催日	受付人数
健康増進セミナーin 東京	2017年1月28日（土）	525名
健康増進セミナーin 大阪	2017年2月18日（土）	718名
50代からの健康セミナーin 群馬	2017年3月20日（月祝）	482名
50代からの健康セミナーin 兵庫	2017年4月15日（土）	381名
50代からの健康セミナーin 三重	2017年5月13日（土）	658名
50代からの健康セミナーin 愛知	2017年6月17日（土）	596名
健康増進セミナーin 京都・滋賀	2017年9月30日（土）	587名
健康増進セミナーin 岐阜	2017年10月28日（土）	735名
計	—	4,682名

また、国立研究開発法人 国立長寿医療研究センターの監修により作成した介護予防・認知症予防のためのリフレッシュ運動DVDを希望者148名に無料配布いたしました。

予算対比正味財産増減計算書（講座・セミナー事業（一般人対象）A）

科 目	予算額	決算額	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	5,634,800	3,302,133	△2,332,667
修繕費	0	32,000	32,000
印刷製本費	0	125,000	125,000
その他の	0	125,000	125,000
諸謝金	1,100,000	1,200,000	100,000
セミナー講師謝礼	1,100,000	1,200,000	100,000
租税公課	0	24,605	24,605
支払寄付金	2,500,000	0	△2,500,000
会議費	45,000	57,919	12,919
セミナー会議費用	0	57,919	57,919
その他	45,000	0	△45,000
旅費交通費	220,000	91,769	△128,231
セミナー講師旅費交通費	220,000	47,907	△172,093
その他	0	43,862	43,862
通信運搬費	0	1,040	1,040
減価償却費	1,769,800	1,769,800	0
経常費用計	5,634,800	3,302,133	△2,332,667
評価損益等調整前当期経常増減額	△5,634,800	△3,302,133	2,332,667
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△5,634,800	△3,302,133	2,332,667

経常費用は 330 万円で、予算比△233 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 内閣府公益認定等委員会の指導で、支払寄付金を法人会計に計上したこと（△250 万円）
- 旅費交通費が想定よりも抑えられたこと（△13 万円）
- 想定していなかった修繕費、印刷製本費が生じたこと（+16 万円）
- 諸謝金、会議費が想定を上回ったこと（+11 万円）
- 租税公課を事業別に予算計上していなかったこと（+2 万円）

B. 認知症医療介護推進フォーラム

国立研究開発法人 国立長寿医療研究センターの主催する第4回認知症医療介護推進フォーラムに共催する形で参画いたしました。

予算対比正味財産増減計算書（講座・セミナー事業（一般人対象）B）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	4,000,000	1,762,637	△2,237,363
消耗品費	0	6,085	6,085
印刷製本費	1,500,000	371,000	△1,129,000
その他	1,500,000	371,000	△1,129,000
諸謝金	500,000	123,000	△377,000
セミナー講師謝礼	500,000	123,000	△377,000
租税公課	0	121,445	121,445
委託費	0	237,000	237,000
会議費	1,700,000	637,178	△1,062,822
セミナー会議費用	1,700,000	632,178	△1,067,822
その他	0	5,000	5,000
旅費交通費	200,000	264,129	64,129
セミナー講師旅費交通費	200,000	234,580	34,580
その他	0	29,549	29,549
通信運搬費	100,000	2,800	△97,200
経常費用計	4,000,000	1,762,637	△2,237,363
評価損益等調整前当期経常増減額	△4,000,000	△1,762,637	2,237,363
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△4,000,000	△1,762,637	2,237,363

経常費用は176万円で、予算比△224万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 印刷製本費、諸謝金、会議費、通信運搬費が想定よりも抑えられたこと（△267万円）
- 旅費交通費が想定を上回ったこと（+6万円）
- 委託費を予算計上していなかったこと（+24万円）
- 租税公課を事業別に予算計上していなかったこと（+12万円）

(4) 講座・セミナー事業（専門家対象）（公4）

講座・セミナー事業（専門家対象）では、定款第4条第1項第3号に定める「医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び介護福祉従事者の育成事業」として、研修認定薬剤師制度における集合研修の単位を取得することのできる「地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修」を運営いたしました。

当事業年度末日現在の提供講座数は64講座、登録受講者数は2,897名であります。

予算対比正味財産増減計算書（講座・セミナー事業（専門家対象））

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	4,080,000	2,932,637	△1,147,363
研 修 事 業 会 費	4,080,000	2,932,637	△1,147,363
経常収益計	4,080,000	2,932,637	△1,147,363
(2) 経常費用			
事 業 費	4,483,000	2,949,877	△1,533,123
印 刷 製 本 費	1,980,000	843,273	△1,136,727
教 材 撮 影 編 集 費	1,680,000	843,273	△836,727
そ の 他	300,000	0	△300,000
諸 謝 金	600,000	0	△600,000
セ ミ ナ ー 講 師 謝 礼	600,000	0	△600,000
支 払 手 数 料	1,380,000	1,415,042	35,042
I D 管 理 費	1,020,000	1,006,500	△13,500
日 本 薬 剤 師 研 修 セ ン タ ー 認 定 費	360,000	361,912	1,912
そ の 他	0	46,630	46,630
租 税 公 課	0	△28,374	△28,374
広 告 宣 伝 費	0	195,000	195,000
旅 費 交 通 費	0	122,560	122,560
そ の 他	0	122,560	122,560
通 信 運 搬 費	123,000	2,376	△120,624
減 価 償 却 費	400,000	400,000	0
経常費用計	4,483,000	2,949,877	△1,533,123
評価損益等調整前当期経常増減額	△403,000	△17,240	385,760
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△403,000	△17,240	385,760

経常収益は293万円で、予算比△115万円となりました。なお、当事業年度から、会員から受領した年会費を月割し、当事業年度に係る部分を研修事業会費に計上（293万円）し、翌事業年度に係る部分を前受会費に計上（194万円）しております。

また、経常費用は295万円で、予算比△153万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 印刷製本費、通信運搬費が想定よりも抑えられたこと（△126万円）
- 想定していた当該事業個別の諸謝金の計上がなかったこと（△60万円）
- 広告宣伝費、旅費交通費の予算を計上していなかったこと（+32万円）

(5) 公益事業共通

公益事業共通には、公益事業に共通する収益及び費用を計上しております。

予算対比正味財産増減計算書（公益事業共通）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	66,866,000	66,854,620	△11,380
基本財産受取利息	110,000	0	△110,000
基本財産受取利息振替額	0	98,620	98,620
基本財産受取配当金	66,756,000	66,756,000	0
受取寄付金	3,500,000	0	△3,500,000
受取寄付金	3,500,000	0	△3,500,000
雑収	0	21,226	21,226
その他雑収	0	21,226	21,226
経常収益計	70,366,000	66,875,846	△3,490,154
(2) 経常費用			
事業費	4,880,000	2,804,729	△2,075,271
印刷製本費	850,000	0	△850,000
その他	850,000	0	△850,000
租税公課	1,500,000	0	△1,500,000
給料手当	2,050,000	2,804,729	754,729
旅費交通費	480,000	0	△480,000
その他	480,000	0	△480,000
経常費用計	4,880,000	2,804,729	△2,075,271
評価損益等調整前当期経常増減額	65,486,000	64,071,117	△1,414,883
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	65,486,000	64,071,117	△1,414,883

経常収益は、6,687万円で、予算比△349万円となりました。見込んでいた受取寄付金がなかったこと（△350万円）が主な要因です。

また、経常費用は280万円で、予算比△208万円となりました。給料手当が想定を上回りましたが、その他に予算計上したものは、個別の事業に振り分けたため、公益事業共通には計上されませんでした。

(6) 一般事業

一般事業には、当法人の管理・運営に係る収益及び費用を計上しております。

予算対比正味財産増減計算書（一般事業）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	24,000,000	24,000,000	0
基本財産受取配当金	24,000,000	24,000,000	0
雑収入	110,000	278,974	168,974
受取利息	110,000	98,877	△11,123
その他の雑収益	0	180,097	180,097
経常収益計	24,110,000	24,278,974	168,974
(2) 経常費用			
役員等報酬	23,856,740	19,435,550	△4,421,190
役員報酬	3,350,000	2,100,000	△1,250,000
評議員報酬	1,300,000	700,000	△600,000
理事報酬	1,650,000	1,050,000	△600,000
監事報酬	400,000	350,000	△50,000
消耗品費	10,000	38,997	28,997
印刷製本費	772,400	522,202	△250,198
賃借手数料	180,000	180,000	0
支払手数料	338,896	345,110	6,214
租税公課	500,000	360,940	△139,060
給付金	16,550,000	10,381,001	△6,168,999
広告宣伝費	0	2,010,000	2,010,000
ホムペー ジ 関連費用	342,180	542,931	200,751
その他	306,180	426,181	120,001
会議交通費	36,000	116,750	80,750
旅費	422,500	672,141	249,641
評議員旅費	963,000	729,816	△233,184
理事旅費	400,000	406,362	6,362
監事旅費	450,000	230,671	△219,329
職員旅費	63,000	57,909	△5,091
通信費	50,000	34,874	△15,126
通電その他	192,000	817,457	625,457
減価償却費	72,000	106,676	34,676
雑費	120,000	710,781	590,781
その他	235,764	160,764	△75,000
経常費用計	23,856,740	19,435,550	△4,421,190
評価損益等調整前当期経常増減額	253,260	4,843,424	4,590,164
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	253,260	4,843,424	4,590,164

経常収益は、2,428万円で、予算比+17万円となりました。原稿料収入を雑収益に計上したこと（+18万円）が主な要因です。

また、経常費用は1,944万円で、予算比△442万円となりました。主な要因は以下のとおりです。

➤ 役員等報酬、印刷製本費、租税公課、給料手当、旅費交通費、減価償却費

が想定よりも抑えられたこと（△812万円）

- 内閣府公益認定等委員会の指導で、杉浦賞の褒賞金以外の支払寄付金を法人会計に計上したこと（+201万円）
- 消耗品費、広告宣伝費、会議費、通信運搬費が想定を上回ったこと（+110万円）
- お中元、お歳暮等の予算として雑費を計上していなかったこと（+57万円）

2. 決算の概況

(1) 正味財産増減計算書（決算報告書 2～3 頁）

一般正味財産増減の部では、経常収益 9,449 万円（前年度比△160 万円）に対し、経常費用は、事業費 6,598 万円（前年度比△674 万円）、管理費 1,944 万円（前年度比△820 万円）、合計 8,541 万円（前年度比△1,494 万円）でした。当期経常増減額は 908 万円（前年度比+1,654 万円）となり、当期一般正味財産増減額も 908 万円（前年度比+1,651 万円）となりました。その結果、一般正味財産期末残高は、期首残高 2,294 万円から+908 万円の 3,202 万円となりました。

指定正味財産増減の部では、基本財産運用益 10 万円に対し、一般正味財産への振替額 10 万円で、当期指定正味財産増減額はありませんでした。その結果、指定正味財産期末残高は、期首残高と同額の 208 億 4,791 万円となりました。

以上の結果、正味財産期末残高は 208 億 7,993 万円（前年度比+908 万円）となりました。

(2) 貸借対照表（決算報告書 1 頁）

流動資産は、前年度比+1,483 万円の 2,309 万円となり、その主因は、現金預金が前年度比+1,507 万円となったことにあります。

固定資産は、前年度比△200 万円の 208 億 6,306 万円となり、その主因は、償却による減少額が 234 万円であったことにあります。

以上の結果、資産合計は、前年度比+1,284 万円の 208 億 8,615 万円となりました。

流動負債は、前年度比+376 万円の 622 万円となり、その主因は、未払金が前年度比+183 万円、前受会費が前年度比+194 万円となったことにあります。

固定負債に該当するものがないので、負債合計は流動負債と同額となります。

なお、資産負債の詳細につきましては、財産目録（決算報告書 8 頁）に記載のとおりです。

3. 法人の概況

(1) 設立日及び公益認定日

設立日及び公益認定日は、以下のとおりです。

- 設 立 日 2011年9月1日
- 公益認定日 2015年7月1日

(2) 主たる事務所の所在地

主たる事務所の所在地は、以下のとおりです。

- 愛知県大府市横根町新江62番地の1

(3) 定款に定める目的

定款に定める目的は、以下のとおりです。

- 医学・薬学・看護学・社会福祉学の進歩発展、医薬品の研究・開発、医薬品の安定的且つ安全な供給と医療従事者および介護福祉従事者の育成を支援することにより、地域医療を振興し、以って、国民とりわけ高齢者の健康と福祉の増進に寄与すること

(4) 定款に定める事業内容

定款に定める事業内容は、以下のとおりです。

- 地域医療の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞
- 地域医療の振興に係る社会実験への助成、参画
- 医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び介護福祉従事者の育成事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- 医学・薬学・看護学・社会福祉学・社会保障に関する研究・調査事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- 医薬品の研究・開発に対する助成、褒賞
- その他前条の目的を達成するために必要な事業

(5) 役員

2017年12月31日現在の役員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
理事長	杉浦 昭子	スギホールディングス株式会社 代表取締役副社長
理事	秋下 雅弘	東京大学大学院医学系研究科 教授
	井口 昭久	愛知淑徳大学 健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科 教授／名古屋大学 名誉教授
	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長 ／日本福祉大学 常務理事
	杉浦 伸哉	スギホールディングス株式会社 取締役／株式会社スギ 薬局 常務取締役 営業本部長兼ウェルネス事業部長
	高瀬 義昌	医療法人社団 至高会 たかせクリニック 理事長／公益 財団法人日米医学医療交流財団 理事
	中井 加代子	公益社団法人日本看護協会 監事／公益社団法人愛知県 看護協会 監事／特定非営利活動法人看護の広場 理事 長
	鍋島 俊隆	名古屋大学 名誉教授／特定非営利活動法人医薬品適正 使用推進機構 理事長
	野本 慎一	京都大学 名誉教授／滋賀県立リハビリテーションセン ター 所長
	久常 節子	元 国際医療福祉大学大学院 副大学院長／元 公益社団 法人日本看護協会 会長
	山村 恵子	愛知学院大学 臨床薬剤学講座 教授
監事	神谷 誠	デトロイトトーマツ税理士法人 名古屋事務所 所長
	平野 晃	公認会計士／元 新日本有限責任監査法人 シニアパー トナー

(注) 五十音順で記載しております。

(6) 評議員

2017年12月31日現在の評議員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
評議員会長	杉浦 広一	スギホールディングス株式会社 代表取締役会長
評議員	荒井 秀典	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 副院長
	上野 桂子	社会福祉法人聖隷福祉事業団 監事／一般社団法人全国訪問看護事業協会 副会長
	木村 隆次	公益社団法人青森県介護支援専門員協会 副会長／一般社団法人青森県薬剤師会 会長
	葛谷 雅文	名古屋大学大学院医学系研究科 発育・加齢医学 地域在宅医療学 老年科学教室 教授／名古屋大学医学部附属病院 老年内科長
	倉田 なおみ	昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 地域医療薬学部門 教授
	白澤 政和	桜美林大学大学院老年学研究科 老年学専攻 教授／日本学術会議 会員
	杉浦 克典	スギホールディングス株式会社 取締役／株式会社スギ薬局 代表取締役社長
	鈴木 匡	名古屋市立大学 薬学部 臨床薬学教育研究センター 教授
	高橋 紘士	一般財団法人高齢者住宅財団 特別顧問
	田中 滋	慶應義塾大学 名誉教授
	辻 哲夫	東京大学 高齢社会総合研究機構 特任教授
	水流 聡子	東京大学大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 品質・医療社会システム工学寄付講座 特任教授
	豊田 百合子	大阪保健福祉専門学校 副学校長／元 公益社団法人大阪府看護協会 会長
伴 信太郎	愛知医科大学 医学教育センター長・特命教授	

(注) 五十音順で記載しております。

(7) 事務局組織

2017年12月31日現在における事務局組織は、以下のとおりです。

職員構成

事務局長	1名
企画グループ	2名
総務・経理グループ	2名

(8) 理事会

当事業年度に開催した理事会は、以下のとおりです。

開催日	目的事項
2017年2月21日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・2016年度（第2期）事業報告、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録承認の件 ・第2回定時評議員会招集の件 ・理事会運営規程一部変更の件 ・杉浦地域医療振興賞特別表彰規程制定の件
2017年3月9日 臨時理事会	【決議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・理事長（代表理事）選定の件 ・第6回杉浦地域医療振興賞承認の件
2017年4月27日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・第6回杉浦地域医療振興助成実施の件
2017年7月20日 第4回定例理事会	【報告事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・業務執行状況報告の件
2017年12月14日 第5回定例理事会	【決議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度（第4期）事業計画書及び収支予算書承認の件 ・杉浦地域医療振興賞審査委員会規則、杉浦地域医療振興賞諮問委員（会）規則及び杉浦地域医療振興助成選考委員会規則改定並びに杉浦地域医療振興賞特別表彰規程廃止の件 ・第7回杉浦地域医療振興賞審査委員及び諮問委員並びに第7回杉浦地域医療振興助成選考委員選任の件 【報告事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・業務執行状況報告の件

(9) 評議員会

当事業年度に開催した評議員会は、以下のとおりです。

開催日	目的事項
2017年3月9日 第2回定時評議員会（報告・決議の省略の方法による）	【報告事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・2016年度（第2期）事業報告の件 【決議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・2016年度（第2期）計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録承認の件 ・理事8名選任の件 ・監事2名選任の件
2017年12月26日 評議員会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度（第4期）事業計画書及び収支予算書承認の件

以上

事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので、これを作成しておりません。

2018年2月

公益財団法人杉浦記念財団